

【 診療科:消化器外科 】
 【 レジメン登録番号:SG-42 】

〈 mFOLFOX6+ベバシズマブBS療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)	
			1	14
ベバシズマブBS	5mg/kg	div	○	
レボホリナート	200mg/m ²	div	○	
オキサリプラチン	85mg/m ²	div	○	
フルオロウラシル	400mg/m ²	div(10分以内で)	○	
フルオロウラシル	2400mg/m ²	ci (or div)	○	

【1コース期間: 14 日】 【総コース数: コース】

【適応癌種: 結腸・直腸癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈第1日目〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Ro.0	ソルテム3A 500mL	div(80mL/h)
Rp.1	5-HT ₃ R Blocker 1A	div(15分で)
	デキサート 6.6mg 生理食塩水 50mL	
Rp.2	ベバシズマブBS 5mg/kg	div(90~30分)
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	カルチコール 2A	div(30分で)
	マグネゾール 0.5A	
	生理食塩水 100mL	
Rp.4	レボホリナート 200mg/m ²	div(2時間で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.4	オキサリプラチン 85mg/m ²	側管div(2時間で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.5	フルオロウラシル 400mg/m ²	div(10分以内で)
	5%ブドウ糖液 100mL	
Rp.6	フルオロウラシル 2400mg/m ²	ci(2.5mL/h、46時間で)
	生理食塩水(別紙希釈表により注入)	

※初回90分、2回目は60分でも可。
3回目以降は30分でも可。

【参考文献: JSCCR Guidelines 2010 for the Treatment of Colorctal Cancer】

【備考①: オキサリプラチンとレボホリナートは同時投与。】

【備考②: Rp.6はインフューザーポンプ使用を原則とする。ポートがない場合は入院で施行する場合もある。入院の場合は、フルオロウラシル 2400mg/m² + 生理食塩水 500mL div(46時間で)】

【備考③: インフューザーポンプは、バクスター-SV2.5を使用。】

【変法情報: